

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0831
施設名	ハッピードリーム鶴間
施設所在地	町田市南町田4-22-7
法人名	社会福祉法人 龍美

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然への興味の広がり ～園庭の植物や生物への興味から学びを深める～
第一期 砂・土などの自然素材と可塑性のある素材を用いたこどもの主体性を育む探求型あそび

<テーマの設定理由>

当園は住宅街の中にある保育所で、自然物と触れ合い学びとる環境としては足りない部分がある。このため、今回のすくわくプログラムの取り組みの中で園庭に自然物やその観察が出来る環境を用意し、子どもたちが草木の自然物や土・木・砂・水、それらと触れ合う中での学びを深める。また、園庭での自然環境構築の専門講師によるコーチング研修等を実施し、より効果的で高度な学びの環境を子どもたちと共に創り上げていくにはどうするべきか、何をを用意することが望ましいかの学びを得て保育実践に活かす。加えて、異年齢クラスがある園の特徴から3歳から5歳（時には乳児との関わりも加わる可能性もある）の子どもたちの中での学び合いを大切にできる取り組みとしたい。

2. 活動スケジュール

2025年 5月～10月 花壇の設置工事・他園の園庭を参考にするための視察（6月）
2025年 11月～12月 子どもたちの遊びの観察/植えたい植物を幼児クラスと考える
植栽を増やす アドバザーからのフィードバックとそれに基づいた環境づくりの実施
2026年 1月～3月 環境改善後の観察と記録及び共有

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

自然素材 : 植物（季節や遊び方を考慮して植える）・砂・水 等
環境設定 : 花壇（季節の自然物に触れる・気付く環境）⇒新たに設置

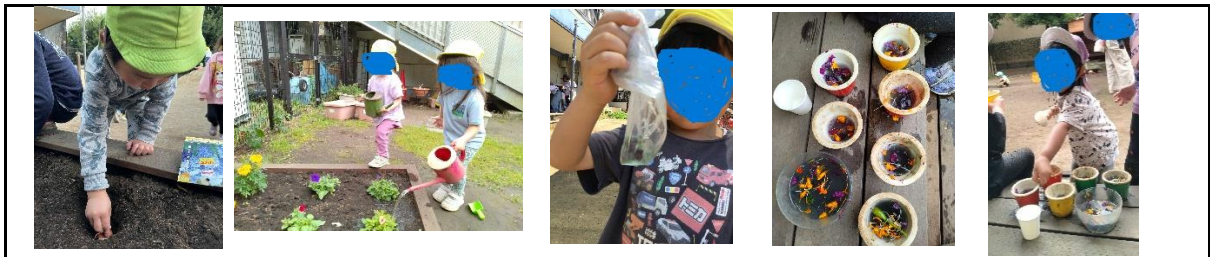
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

花壇が出来てすぐの時期は興味はあるものの植物を触ろうなどの行為に繋がらず、見ているだけの児が多く見られた。しばらくすると、1・2歳児が花を摘んでカップに入れて持ち歩く姿が見られ、幼児クラスの子は花壇の花にお水をあげる、摘んでおままごとにするなどの姿が見られるようになっていった。おままごとにする、色水にするなど花への興味の方が強く、葉や香りなどへの興味は薄い。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

植物が枯れてくると花壇への興味が段々と薄れていたので、保育者からの提案で子どもたちに花壇に植えたい花のアンケートを取ることにした。子どもたちが選んだ種類も多かったので、保護者や職員にもアンケートを取り、花壇に植える花を決める。決まった花の苗を子どもたちと一緒に植えたことで、まだ花が咲いていなくても水を上げたり様子を見ている児がたくさんいた。小さい年齢の児が蕾や球根を取ろうとすると、子どもたちが「まだ取っちゃだめだよ」と止めるなど成長を楽しみにしていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

・素材を見つけると自分たちで遊びを広げたり、自主的に花に水をあげようとするなどの姿が見られ、環境を整えることの重要性を改めて感じた

・花を使った遊びへの興味の方が強く、葉や香りなどへの興味は薄い姿が見られた。保育者が誘い掛けなど五感でも感じられるようなアプローチがもっと必要だった。アンケートを投げかけたことはとても良いきっかけとなったので、興味が薄れた時、子どもが気付いていない点などへの大人のアプローチの仕方が課題と感じた。